

## 地域との強い連携でにぎわいづくり！！

### ❶ ここがポイント

大型店や大学さらには地元団体との連携で多彩な事業を展開



アポポ商店街

#### 【取り組みの背景】

入間駅前の区画整理をきっかけに誕生した商店街であり、愛称を全国公募した。全国から 2826 通の応募があり、選考委員会で学生の意見により採用され、商店街の正式名称となったのが「アポポ商店街」である。”アポポ”とは「アっという間に人がポこポこ集まる街」という意味であり、これを目標にして、近年では「ナンバーワンより地域のオンリーワン」をテーマに、さまざまな取組を進めている。

#### 【取り組みの概要・経過】

- ① いるまんなか協議会  
大型店 4 店と二つの隣接商店街が共同で行う事業をサポートするために発足した。大型店や商店街のスタンプが揃うと抽選ができるスタンプラリーなどを実施している。
- ② サマーフェスティバル  
商店街最大のイベントで、毎年 8 月の最終

土曜日に開催される。

米軍横田基地所属バンド、地元小・中学校のブラスバンド、和太鼓、ジャズ演奏など、街中がステージとなる。

国際屋台村では十数カ国の料理が味わえ、フリーマーケットも 70 店程参加。NPO 法人「あいくる」(子育て支援)やおおぎ第二保育園等の協力で、ゲーム等が楽しめる「こども広場」も開設。



サマーフェスティバル

#### ③ 大学との連携

街区内に、駿河台大学の「駿台ふれあいハウス」があり、イベントなどの際には企画段階から参加を得るなど、商店街を盛り上げている。

また、豊岡プテ大学を開催し、大学教授や地元の有志の話が気軽に聞けることでも好評。

#### ④ 映画文化を考える市民会議

映画文化を根づかせるためにユナイテッドシネマと協働し、「映画文化を考える市民会議」を立ち上げ、自主的に映画を上映し

ている。

#### ⑤伝統の祭りへの積極的な参画

地元の伝統ある「おとうろう祭り」に企画委員会を組織して積極的に参画、祭りの運営に協力している。

平成19年には巨大な幟（のぼり）を四十数年ぶりに復活させる大きな原動力となった。

#### 【取り組みの効果】

他商店街、大型店、地元団体、大学等との連携をアポポ商店街が仕掛けることにより、さまざまなイベントが地域全体のものとして行われるようになった。また、地域での商店街の存在感も高まった。

#### 【今後の課題など】

商店街の新たな担い手を育成するため創設されたapocco（青年部）が、郊外の大型商業施設とは異なった商店街の魅力を創出すべく、現在イラストマップ、逸品マップに次ぐ、「専門店マップ（飲食編）」を作成中である。

さらには、今まで培った地域との連携力をより強化するとともに、地域の文化・歴史を活かし、特徴ある街づくりを目指す。



商店街で作成した  
「いままなかてくてくマップ」

## 【埼玉県入間市】

### 【アポポ商店街振興組合】

所在地：埼玉県入間市

会員数：97名

店舗数：約120店舗

商店街の類型：地域型商店街

URL: <http://www.apopo.net/>

### 【この商店街にこの人あり】



アポポ商店街振興組合専務理事

松井秀男氏

20代に青年海外協力隊員として2年間アフリカ・ケニア共和国に在住。現在は地元で建築の設計を行いながら、アポポ商店街のコーディネーターとして活躍中。

### 【うちの商店街、ここが自慢】

- ・商店街が地域・大型店とうまく連携して活動している。
- ・施設整備が充実している街区で多彩なソフト事業を実施している。